

令和3年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

海津市地域公共交通会議 (海津市)

平成25年12月5日設置

令和2年3月 第2次海津市地域公共交通網形成計画策定
(計画期間：令和2年4月～令和9年3月)

令和2年7月 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和3年3月1日 令和2年度評価結果送付

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>①地域住民からの強い要望がある桑名市、愛西市と連携した移動手段の確保について、今後、協議が加速することを期待します。また、自治体を跨ぐコミュニティバスについては、更なる利便向上を図るため、関係者との協議、連携の継続をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none">・三重県桑名市との協議により、桑名市へのデマンド交通の乗り入れを実施予定。・愛知県愛西市の鉄道駅への接続を次年度より検討予定。・輪之内町との協議により、令和4年10月の再編で、輪之内町内にバス停を設置予定。	<ul style="list-style-type: none">・更なる利便向上を図るため関係者との協議、連携に向けて協議、連携の継続を図っていく。
<p>②海津明誠高校の通学利用に配慮したダイヤへの見直しや中学生への周知を行うなどの対応が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none">・令和4年10月の再編で、海津明誠高校を経由する便の大幅な増便を検討中。	<ul style="list-style-type: none">・中学校の進路説明会等でのPRに努める。
<p>③お千代保稲荷や海津温泉・南濃温泉などの観光地アクセスのPRを強化することを期待します。</p>	<ul style="list-style-type: none">・令和4年10月の再編で、海津温泉・南濃温泉・木曾三川公園などの観光地を結ぶ観光路線の運行を検討中。・お千代保稲荷を経由することがわかりやすいような路線名称を検討中。	<ul style="list-style-type: none">・今後も検討を進めるとともに、路線再編時は変更内容を周知し、利用促進を図る。

地域の特性・概要・公共交通の取り組みの背景

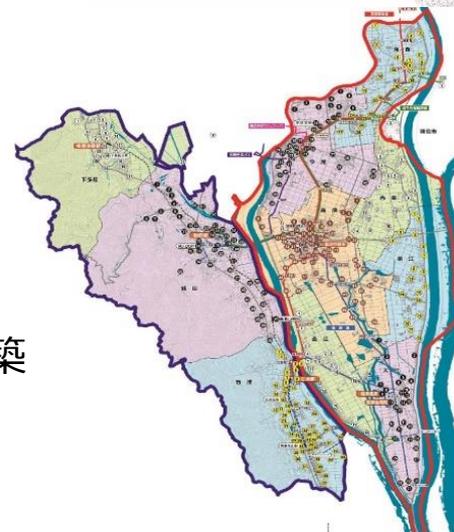
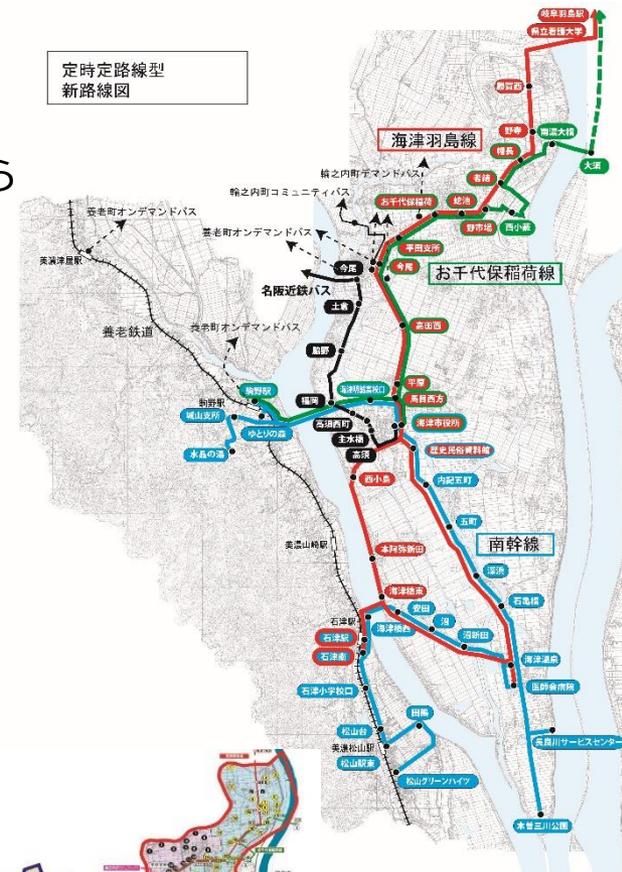
- 市内の公共交通は、養老鉄道、名阪近鉄バス、市コミュニティバス、タクシーで構成。コミュニティバスは、従来の8路線から**定時定路線3路線+デマンド交通に再構築**（平成27年10月～）
- 養老線鉄道事業再構築実施計画の認定
平成29年12月21日認可
期間：平成31年1月1日～令和9年3月31日
- 養老線地域公共交通網形成計画策定
平成29年10月24日作成
期間：平成29年度～令和8年度（10年間）

海津市地域公共交通網形成計画の概要

将来像 『みんなでつくる、便利な公共交通網』

- 基本方針**
- ①持続可能性を考慮した公共交通網の構築
 - ②関係者の協働による公共交通網の構築
 - ③住民が主体的に参画するための仕組みの構築

計画期間 令和2年度～令和8年度



① デマンド交通の料金体系の見直し (R2.10.1改正)

- 特定利用者の利用が多いことに起因する「予約の取りにくさ」の解消のため、通常料金の変更や割引対象者の拡大等の**料金体系を見直し**を実施
- 通常料金を300円から400円に変更する一方、割引対象者を拡大し**市内在住の高齢者を200円に値下げ**することで、高齢者が通院や買い物に利用しやすい運賃体系に改善

<改正内容>

- ・ 割引対象者の拡大 (高齢者を半額に変更)
- ・ 通常料金の変更
- ・ パスポート (3,000円/月) の廃止 等

② インターネット予約の導入に向けた実証実験

- 電話混雑の緩和、予約受付時間の拡大など、**サービス向上**を目的に、**インターネット予約**の導入に向けた**実証実験**を実施
(実施期間：令和4年1月11日(火)～3月31日(木))

〔※現時点ではスマートフォンを含めたインターネットを利用できない高齢者が一定数いることから、電話予約と併用して実施〕

→今後、実証実験を踏まえ、問題点等の改善を行い、ニーズに合った内容に見直し、来年度本格稼働を目指す

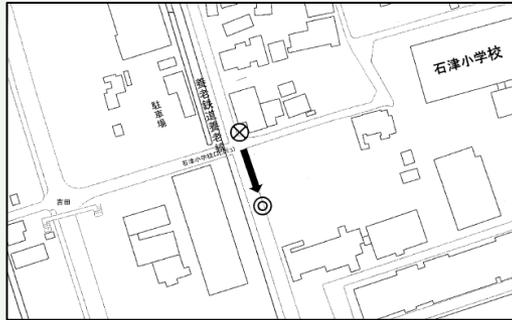
③ 海津羽島線のダイヤの改正 (R2.10.1改正)

- 夜間の岐阜羽島駅着の新幹線との接続を考慮し、海津羽島線のダイヤを一部変更した。

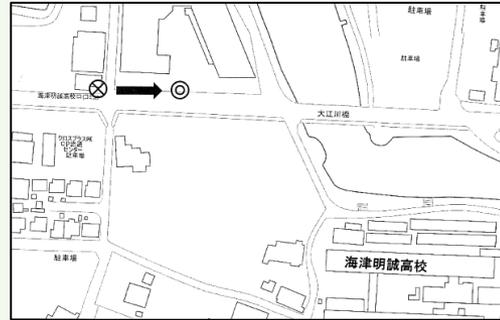
④バス停の移設

- 国土交通省より通達があった、「路線定期運行を行う一般乗り合い旅客自動車運送事業の停留所の安全性確保対策について」の「バス停留所安全性確保対策実施要領」により、横断歩道や交差点付近にあるバス停留所について、**安全が確保される場所へ移設**

海津羽島線・南幹線「石津小学校口」



南幹線「海津明誠高校口」



- ⊗ 現在のバス停
- ◎ 移設先バス停

⑤バス停の新設

- 海津市第2次地域公共交通網形成計画策定時のアンケート、地区別意見交換会の結果を踏まえ、**市外に以下のバス停を新設**

- | | |
|-------------|-------------|
| ①大桑クリニック | (三重県桑名市多度町) |
| ②F☆マート | (三重県桑名市多度町) |
| ③ザ・ビッグ 輪之内店 | (安八郡輪之内町) |

生活交通確保維持改善計画における数値目標

評価の考え方 ■生活交通確保維持改善計画策定時の地域公共交通網形成計画(前計画)の評価指標の1つである「**デマンド交通の利用者数**」を評価指標として設定

	R1年度	R2年度	R3年度	目標 (R3年度)	評価
コミバス利用者数	96,604人	77,754人	74,281人	97,100人	—
デマンド交通	20,190人	17,574人	16,439人	20,300人	未達成
定時定路線	76,414人	60,180人	57,842人	—	—
海津羽島線	43,812人	36,704人	36,370人	—	—
南幹線	28,420人	19,401人	16,925人	—	—
お千代保稲荷線	4,182人	4,075人	4,547人	—	—

目標達成状況に関する考察

- 令和2年度以降は**新型コロナウイルス**感染拡大に伴う外出自粛や学校の一斉休校の影響で、各路線とも利用者数が大きく減少した。

デマンド交通

- 新型コロナウイルスの影響が出る前の令和元年度からの減少率をみると、定時定路線バスの利用者が**24%減**であるのに対し、デマンド交通の利用者は**19%減**と相対的に小さい。

定時定路線

- 海津羽島線：**海津明誠高校の生徒数減少**やお千代保稲荷への観光客の減少による影響が大きいと考えられる。
- 南幹線：**海津明誠高校の生徒数減少**に伴う利用者の減少が大きいと考えられる。
- お千代保稲荷線：西小薮～大須間で通学利用の小学生が増加した。

海津市地域公共交通網形成計画における数値目標

①鉄道の利便性、効率性及び満足度向上

	R1年度	R2年度	R3年度	目標 (R7年度)	評価
養老鉄道 (市内乗降者数)	450,885人	369,183人	368,270人	394,000人	未達成
美濃松山	939人/日	791人/日	834人/日	—	—
石津★	495人/日	413人/日	400人/日	—	—
美濃山崎	174人/日	151人/日	111人/日	—	—
駒野★	1,143人/日	941人/日	1,024人/日	—	—
美濃津屋	315人/日	297人/日	291人/日	—	—

※1) 各駅の数値は平日のみの集計 ※2) ★はコミュニティバス接続駅

※3) 目標数値は養老線交通圏地域公共交通網形成計画に掲げる目標値から算出

- 養老鉄道の利用者数は、新型コロナウイルスの影響で目標を下回っているが、交通事業者が感染防止対策を実施していることをPRする等、公共交通利用に対する不安を払拭するとともに、今後利用の回復に努め、各事業を推進していく必要がある。

②住民が主体的に公共交通に係るための取組みの実施

	R1年度	R2年度	R3年度	目標 (R7年度)	評価
運転免許証 自主返納者数	73人	84人	84人	80人	達成

- 運転免許証自主返納支援事業を継続して実施しており、着実に効果が発現している。

